科目ナンバリング PUL-101 教職 選択 2単位

浦野 東洋一

1. 授業の概要(ねらい)

教員免許状を取得するためには「日本国憲法2単位」を修得しなければなりません(教育職員免許法施行規則第66条の6)。この授業はそのためのものです。私からの「講義」のほか、リアリティのある授業をめざし、「思考」し「表現」していただくために、対話型の授業を心がけ、判例や新聞記事を活用するとともに、レポートの提出を求めpresentationの時間を設けます。

2. 授業の到達目標

近代立憲主義に立つ日本国憲法の原理、特色を説明できる。/憲法の視点から教育の在り方、子ども観について考察し、意見を述べることができる。/教育法令集を活用できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点[授業への集中度、各種レポート(*)等による]50%+テスト点50%*課題図書レポート、宿題レポート、授業内レポート(リアクション・ペーパー)

4. 教科書·参考文献

教科書

勝野正章ほか・編 (授業時必携法令集)『教育小六法・2020年版』(他の教職課程の授業にも役立つように、一般の法令集ではなく本書を指定します。収録されていない重要法令を授業で扱う場合は、印刷して配布します。) 学陽書房課題図書:2回目の授業時に例示し、説明します。

参考文献

加藤一彦·著 教職教養憲法15話〔改訂三版〕 北樹出版

西原博史・斎藤一久/編著 教職課程のための憲法入門「第2版」 弘文堂

5. 準備学修の内容

大学設置基準第21条第2項に「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」とあり、大学は、このことを前提に制度設計されています。

復習を重視して、授業中に読めなかった配布プリントを読み、研究してください。課題図書レポートの作成に、早めに計画的に取り組んでください。

6. その他履修上の注意事項

- (1)憲法に関係する新聞記事のスクラップ・ブックをつくり学習・研究することをお勧めします。スクラップ・ブックを作成した人は、14回目の授業時に浦野に提出してください。(15回目の授業時に返却します)。成績評価の参考にします。
- (2)「課題図書レポート」の提出は、単位認定の「必要条件」です。
- (3)教員は「成績評価」について「説明責任」を負っているので、学期終了後一定期間、成績評価の根拠となった答案やレポート類を保管しておかなければなりません。そのため、授業中にレポート類を返却することはできませんので、「課題図書レポート」「宿題レポート」は、自己保存用にコピーしてからの提出をお勧めします。

7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーション /大日本帝国憲法について

【第2回】 大日本帝国憲法と教育について

【第3回】 憲法とは何か、法とは何か、法の構造について / 『教育小六法』の使い方

【第4回】 日本国憲法の制定過程について

[第5回] 前文、第1章(天皇)、第2章(戦争の放棄)について 【第6回】 第3章(国民の権利及び義務)について(その一)

【第7回】 第3章(国民の権利及び義務)について(その二) ○学生は「課題図書レポート①」を提出する

【第8回】 学生のpresentation、グループ討論、リアクションペーパーの作成と提出(1回目)

【第9回】 重要判例の検討(その一)・・・・学力テスト事件最高裁大法廷判決

【第10回】 重要判例の検討(その二)・・・公立高専エホバの証人学生退学処分事件

【第11回】 第4章(国会)、第5章(内閣)、第6章(司法)について

【第12回】 第7章(財政)、第8章(地方自治)、第9章(改正)、第10章(最高法規)について

【第13回】 国際法規範について ○学生は「課題図書レポート②」を提出する。

【第14回】 学生のpresentation、グループ討論、リアクションペーパーの作製と提出(2回目)

○ 学生は「スクラップ・ブック」を提出する(任意)。

【第15回】 「テスト」「学生による授業評価」「学生の自己評価」を実施する。

●『教育小六法』、教材プリント、ノートを忘れずに持参すること(参照可)。